

令和4年度 第2回 医療・介護・住まい部会 次第
(田川市地域包括ケアシステム推進協議会)

令和4年2月7日(火) 18:00～

田川市役所 4階 第2委員会室

1 開会

2 部会長挨拶

3 議事

- (1) 「医療と介護の情報共有の仕組みづくり」について・・・・・・・・・・〔別紙1、資料1〕
- (2) 「多職種連携のための場づくり」について・・・・・・・・・・〔別紙1、資料2〕
- (3) 「住宅のリフォーム・バリアフリー化の推進」について・・・・・・・・・・〔別紙1〕
- (4) 「高齢者向け賃貸住宅の供給促進及び施設等の整備」について・・〔別紙1、資料3、4〕
- (5) その他

4 閉会

次回 令和5年8月頃開催予定

医療・介護・住まい部会の令和3年度実績及び令和4年度実績(予定)

別紙1

◎ 高齢者が住み慣れた地域で必要な医療・介護サービスが受けられる。

事業の柱	在宅医療・介護の提供		高齢者の居住確保		
事業	医療と介護の情報共有の仕組みづくり	多職種連携のための場づくり	住宅のリフォーム・バリアフリー化の推進	高齢者向け賃貸住宅の供給促進及び施設等の整備	
担当課	保健福祉課福祉政策係 高齢障害課高齢介護係	高齢障害課高齢介護係	建築住宅課住宅政策係	高齢障害課高齢介護係 建築住宅課住宅政策係	
令和3年度 実績	<p>【保健福祉課】</p> <p>○地域医療構想について 厚生労働省が再検証対象医療機関である436医療機関の進捗を確認(R3.12) ・各調整会議で「見直す」が「現状維持」の結論に至った病院⇒175病院 見直しの合意内容(複数回答) ①病床機能の見直し⇒94病院 ②病床数の見直し⇒67病院 ③複数の病院を再編⇒24病院 ・コロナ対応などで合意に至っていない病院⇒237病院 ・既に急性期病床を廃止したなどで議論の対象外⇒24病院</p> <p>○医療と介護の連携について ・前年度、病院(田川市郡内の14院)を対象に実施した、本様式の活用等に関するアンケート結果を受けて、次の二点について検討した。 ①簡易版様式の見直し →田川市立病院の医療支援センター(患者相談室)に、様式内容の確認を依頼。 現時点での修正は不要との回答を得たため、当面は現様式のままとすることにした。 ②入院時の情報提供を行う施設、事業所等に対し、改めて入院時情報提供書(簡易版)の活用を依頼 →田川地区介護サービス事業所協議会会長から周知協力の申出あり。協議会参加施設への通知に様式の使用を依頼する内容を掲載してもらった。(実施済)</p> <p>【高齢障害課】</p> <p>○医療・介護関係者間の情報共有 ・とびうめネット活用推進に向けた情報提供(医師会) ・在宅療養のしおりの更新(医師会) ・入退院時連携マニュアルの更新(田川市郡)</p> <p>○入退院時等連携会議 ・コロナ禍のため未実施</p>	<p>【高齢障害課】</p> <p>○田川地区多職種連携 ・田川地区多職種連携研修会(医師会) R3.9.14 「神戸市における新型コロナウイルス感染症の自宅療養・入院待機者への訪問看護の経験から」 WEB研修 参加者:80人</p> <p>○ケアカフェたがわ ・R3.12.10 第1回「多職種協同による地域での看取りケア」 WEB研修 参加者:29人 ・R4.3.4 第2回「事例で学ぶ臨床倫理(意思決定支援)」 WEB研修 参加者:28人</p>	<p>【建築住宅課】</p> <p>○民間住宅リフォーム助成事業について ・民間住宅(個人)のバリアフリー改修助成事業は、計画が30件・助成額500万円に対して、実績が37件・助成額500万円であった。</p> <p>○市営住宅への取組みについて ・老朽化市営住宅の対象団地(日吉町126・中央122・新野上151・平和50計448)の住民に意向調査[建替・住替・継続居住]を実施した。 集計結果 [建替-80戸・住替-120戸・継続居住-15戸]</p>	<p>【高齢障害課】</p> <p>○施設等の現地調査 ・地域密着型サービス事業所において、新規指定及び指定更新(6年に1回)に係る現地調査の実施。 新型コロナウイルス感染予防のため更新の実地指導は原則行わず、広域連合本部による書面指導に変更して実施。 (更新対象事業所:4件。うち入所系:グループホーム2件、認知症対応型通所介護2件(うち1件実地指導))</p> <p>○高齢者における介護施設等の利用状況調査 (令和3年12月1日現在)を実施。</p> <p>【建築住宅課】</p> <p>○市営住宅への取組みについて ・高齢者対応賃貸住宅に取り組みなければならない老朽化市営住宅について、県との共同で建替基本計画策定が完了した。</p>	
令和4 年度 実績 (予定)	令和4年度 実施概要	<p>【保健福祉課】</p> <p>○地域医療構想について 令和4年8月30日に田川地区医療構想調整会議がオンラインで開催された。 地域医療構想の進め方については、令和4年3月に厚生労働省の通知があり、新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって明らかとなった病床の機能分化・連携等の重要性が改めて認識されたこと、病床の削減や統合ありきではなく、地域の事情を踏まえ主体的に取組を進めることなどが示されている。 ※病床機能報告における病床の分類は、高度急性期、急性期、回復期、慢性期がある。 各医療構想会議においては、公的医療機関、それ以外の医療機関の病床数を「合意・検証済」「協議・検証中」「協議・検証未開始」などに分類し、県単位で報告することとなっている。 また、この会議では、糸田町立病院の公的医療機関等2025プランについての議論がなされた。</p> <p>○医療と介護の連携について ・施設から病院へ渡す入院時情報提供書(簡易版)の作成から周知までが、昨年度までに一通り完了した。 ・今年度、病院から施設や自宅へ退院する際の情報提供の現状について、介護事業所に聞き取り調査を実施したところ、病院によって情報量や連絡方法にバラツキがあるとのことだった。そのため、今後の取組として、病院から介護事業所へ渡す、退院時情報提供書(仮)の様式作成について検討するため、病院と介護事業所に情報提供状況調査(アンケート)を実施した。</p> <p>【高齢障害課】</p> <p>○医療・介護関係者間の情報共有 ・とびうめネット研修会(医師会) ・在宅療養のしおりの更新(医師会)</p> <p>○入退院時等連携会議 ・地域の医療・介護連携に関する事例検討、「入退院時連携マニュアル」の内容点検(変更・見直しなど)及び周知等行う予定。</p>	<p>【高齢障害課】</p> <p>○田川地区多職種連携 ・田川地区多職種連携研修会(医師会)予定</p> <p>○ケアカフェたがわ(市) ・R4.9.16 第1回「コロナ禍において面白くなかったこと、良かったこと」 WEB研修 参加者:35名 ・R4.12.9 第2回「地域の事例で学ぶ臨床倫理(意思決定支援)」 対面研修 参加者:35名 ・R5.3.6 第3回「在宅での看取りについて」予定</p>	<p>【建築住宅課】</p> <p>○民間住宅リフォーム助成事業について ・民間(個人)住宅のバリアフリー改修助成事業は、計画が30件、助成額500万円に対して、34件、助成額500万円の決算見込みである。</p> <p>○市営住宅への取組みについて ・バリアフリー化が必要な老朽化市営住宅団地のうち、今回建替事業を実施する日吉町、中央、新野上、平和(448戸)の継続居住希望世帯に対して移転交渉を実施した結果、継続居住希望世帯が15世帯から13世帯に減少したことから、バリアフリー化率が向上する予定である。</p>	<p>【高齢障害課】</p> <p>○施設等の現地調査 ・地域密着型サービス事業所において、新規指定及び指定更新(6年に1回)に係る現地調査を実施。 (更新対象事業所:6件。うち入所系:グループホーム1件実施)</p> <p>○高齢者における介護施設等の利用状況調査 (令和4年12月1日現在)を実施。</p> <p>【建築住宅課】</p> <p>○市営住宅への取組みについて ・高齢者対応賃貸住宅に取り組みなければならない建替建設予定の向陽台団地(高層80戸 車いす対応平屋10戸)の集合住宅については、スマートウェルネスを目指すため橋梁を設置する等生活動線の利便性を考慮した設計となる予定である。</p>
	事業報告	<p>【保健福祉課】</p> <p>○田川市内における医療と介護の情報提供状況調査について(資料1)</p>	<p>【高齢障害課】</p> <p>○ケアカフェたがわチラシ(資料2)</p>		<p>【高齢障害課】</p> <p>○介護保険施設等の入所率(平成30年度以降)、田川市の介護施設等に係る利用状況調査結果(令和4年12月1日現在)(資料3)</p> <p>【建築住宅課】</p> <p>○市営住宅への取組みについて 向陽台団地整備概要(資料4)</p>

田川市内における医療と介護の情報提供状況調査について

1 アンケート実施概要

(1) 介護事業所宛アンケート

ア 対象者：病院から退院した利用者が施設や自宅へ戻る際に、退院時情報提供書（仮）を病院から受け取る側の介護事業所（入所系（居住系）施設及び居宅介護事業所等）

イ 実施方法：郵送後、ファックス又はメールで回収

ウ 実施期間：令和4年12月7日～12月27日

エ 回答数：市内26事業所中24事業所

(2) 病院宛アンケート

ア 対象者：患者が自院から施設や自宅へ退院する際に、退院時情報提供書（仮）を介護事業所に渡す側の入院設備を持つ病院

イ 実施方法：郵送後、ファックス又はメールで回収

ウ 実施期間：令和4年12月7日～12月27日

エ 回答数：市内8院中7院

2 アンケート結果（主な項目を抜粋）

介護事業所宛アンケート（一部）				病院宛アンケート（一部）			
問1 退院時、病院と円滑な情報連携はできていますか。（※一部でもできていない場合は、いいえ）				問1 退院時、事業所・施設との情報連携はできていますか。			
はい	14	いいえ	10	はい	7	いいえ	0
問5 病院から受け取る様式について、内容は十分ですか。（※一部でも不十分と感じている場合は、いいえ）				問7 病院と事業所・施設等の円滑な情報連携のため、新たな市内共通様式の作成は必要だと感じますか。			
はい	10	いいえ	14	はい	3	いいえ	4
問6 病院と事業所・施設等のより円滑な情報連携のため、新たな市内共通様式（退院時連携シート等）の作成は必要だと感じますか。				問9 新たな市内共通様式を作成した場合、使用することは可能ですか。（貴院で使用している様式がある場合、廃止して市内共通様式を使用していただきます。）			
はい	13	いいえ	11	はい	4	いいえ	3

3 傾向

- ・介護事業所と病院の情報連携については、病院全てが「できている」と回答したのに対して、介護事業所では4割程度が「(一部) できていない」と感じている。
- ・介護事業所が病院から受け取る様式の内容は、「十分でない」と感じている介護事業所の方が多い。
- ・新たな市内共通様式の作成が必要かどうかについては、介護事業所は「必要」が、病院は「不要」が若干多く、結果が逆転している。
- ・病院と介護事業所のより円滑な情報連携のため、新たな市内共通様式の作成が必要かどうかについての介護事業所の回答は、「必要」が13、「不要」が11となっている。ただし、不要のうち8事業所は、様式ができた場合は使用可能との説明であり、現在の様式からの変更は難しいと回答したのは3事業所にとどまる。
- ・新たな市内共通様式を作成した場合、病院で使用が可能かどうかについては、「可能」が4、「不可」が3となっている。ただし、使用不可と回答した3院のうち、2院の理由は、いずれも「様式を変更する場合、院内の承認が必要なため、現時点で判断できない」である。もう1院は「電子カルテ上で作成、連携しており、現時点で不備を感じないため」だった。

4 今後の方向性

以上の傾向から、退院時の医療と介護の連携については、情報を渡す側の病院よりも、受け取る側の介護事業所の方が不足を感じていることがわかった。

また、市内共通様式の作成についても同様に、介護事業所の方が必要性を感じている状態であり、「様式が必要」と「使用可能」を合わせると26事業所中21事業所が新様式の使用に前向きな回答をしている。

一方の病院においても、「使用可能」と「院内の承認を得れば可能」を合わせると7院中6院が新様式の使用が可能となる見込みがある。

このことから、市内共通様式である退院時情報提供書(仮)の作成について、更に検討を進めたいと考える。

質問票（施設・事業所用）

事業所・施設名:	担当者名:	職種:
----------	-------	-----

【退院時】 病院から自宅・施設等へ退院する場合

問 1 退院時、病院と円滑な情報連携はできていますか。 ※一部でもできていない場合は、いいえ
(はい ・ いいえ) はい ⇒ 問 3 へ いいえ ⇒ 問 2 へ

問 2 問 1 で「いいえ」と回答した理由を教えてください。 ⇒ 問 3 へ

例:一部病院では担当者により情報提供の仕方や内容が異なるため、情報が不足している場合がある。

問 3 病院との情報連携は主にどの職種とどの職種が行っていますか。 ⇒ 問 4 へ

例:病院のメディカルソーシャルワーカーと施設のケアマネジャー

問 4 退院患者の状況について、病院からの情報連携はどのような方法で行われていますか。 ⇒ 問 5 へ

例:各病院からそれぞれの様式がFAXで送られる。必要な場合は電話で情報交換を行っている。

問 5 病院から受け取る様式について、内容は十分ですか。 ※一部でも不十分と感じている場合は、いいえ
(はい ・ いいえ) ⇒ 問 6 へ

例:ほとんどの病院は十分だが、一部病院の様式の内容が不十分のため、電話で確認を行うことがある。

問 6 病院と事業所・施設等のより円滑な情報連携のため、新たな市内共通様式(退院時連携シート等)の作成は必要だと感じますか。
(はい ・ いいえ) ⇒ 問 7 へ

問 7 病院からの様式による情報提供において、どのような情報が必要ですか。
【別紙1】の退院時連携シート共通様式項目一覧に記入してください。 ⇒ 問 8 へ

【入院時】 施設から病院へ入院する場合(施設のみ回答)

問 8 本市が以前提供した入院時情報提供書(簡易版)【別紙2】は活用されていますか。 (はい ・ いいえ)
はい ⇒ これで回答は終了です。 いいえ ⇒ 問 9 へ

問 9 問 8 で「いいえ」と回答した理由を教えてください。 ⇒ これで回答は終了です。

--

※本アンケート結果は、田川市地域包括ケアシステム推進協議会 医療・介護・住まい部会で資料として使用させていただきます。事業所・施設名等の公表に支障がある場合、担当者までお申し付けください。

退院時連携シート共通様式項目一覧

別紙 1

情報連携において、必要な項目、不要な項目に○をつけてください。

項目名	記入内容	必要	不要
入院原因疾患			
退院時の要介護度	なし・申請中・要区分変更		
退院後の医療機関	入院していた病院・入院前のかかりつけ医・その他の医療機関		
退院後の受診方法	通院・訪問診療		
医療機関（医師）からの見立て・変化の可能性についての説明	今後の見通し、急変の可能性や今後、どんなことが起こりうるか（合併症）、良くなっていく方向かゆっくり落ちていく方向なのか など		
病院等の説明に対する本人・家族の反応・受け止め			
禁忌事項	禁忌の有無、禁忌の内容や留意点		
退院後に必要な処置内容（各項目の該当の有無を選択し、在宅で継続するための要件があれば別に記載する） ※一部不要な項目がありましたら、その項目の上に取り消し線を引いてください。	医療処置 （点滴・酸素療法・喀痰吸引・気管切開・褥瘡処置・ストーマ（尿路・消化管）・胃ろう・経管栄養・尿道カテーテル・痛みコントロール・排便コントロール・排便コントロール・自己注射）		
	看護の視点 （血圧・水分制限・食事制限・食形態・嚥下・口腔ケア・清潔ケア・血糖コントロール・排泄・皮膚状態・認知機能・精神面・睡眠・服薬指導・療養上の指導（食事・水分・睡眠・清潔ケア・排泄）・ターミナル）		
	リハビリの視点 （本人指導・家族指導・関節可動域練習・筋力増強練習・バランス練習・麻痺及び筋緊張改善練習・起居及び立位等基本動作・言語訓練・摂食及び嚥下訓練・ADL練習・IADL練習・疼痛管理・更生装具及び福祉用具等管理・運動耐容能練習・地域活動支援・社会参加支援）		
退院後の課題（阻害要因）	心身の状況・環境など		
退院時のADL（各項目の状況（自立・見守り・一部介助・全介助など）を選択）	身体・生活状況 （食事・口腔ケア・移乗・移動・排泄・更衣・入浴・整容・麻痺・精神面）		
	服薬管理 （自己管理・他者管理・服薬状況など）		
情報交換の履歴	聞き取り日・情報提供者名・職種など		

上記項目以外に必要な情報があればご記入ください。

質問票（病院用）

病院名：	担当者名：	職種：
------	-------	-----

【退院時】 病院から自宅・施設等へ退院する場合

問 1 退院時、事業所・施設との情報連携はできていますか。
（ はい・ いいえ ） はい ⇒ 問 3 へ いいえ ⇒ 問 2 へ

問 2 問 1で「いいえ」と回答した理由を教えてください。 ⇒ 問 7 へ

問 3 事業所・施設との情報連携は主にどの職種とどの職種が行っていますか。 ⇒ 問 4 へ

例：病院のメディカルソーシャルワーカーと施設のケアマネジャー

問 4 退院患者の状況について、病院からどのような方法で情報連携を行っていますか。 ⇒ 問 5 へ

例：担当者が作成した意見書等をFAXで送信し、ケアマネジャーと電話で情報交換を行っている。

問 5 退院時、事業所・施設との情報連携において使用する様式がありますか。（有・無）有 ⇒ 問 6 へ 無 ⇒ 問 7 へ

問 6 どのような様式を使用していますか。
※可能であれば様式の写しを一部ご提供ください。 ⇒ 問 7 へ

例：〇〇シート、〇〇情報提供書

問 7 病院と事業所・施設等の円滑な情報連携のため、新たな市内共通様式の作成は必要だと感じますか。
（ はい・ いいえ ） ⇒ 問 8 へ

問 8 新たな市内共通様式を作成する場合、事業所・施設はどのような情報が必要だと感じますか。
【別紙1】の退院時連携シート共通様式項目一覧に記入してください。 ⇒ 問 9 へ

問 9 新たな市内共通様式を作成した場合、使用することは可能ですか。（貴院で使用している様式がある場合、廃止して市内共通様式を使用していただきます。）（ はい・ いいえ ） はい ⇒ 問 11 へ いいえ ⇒ 問 10 へ

問 10 新たな市内共通様式が不要又は使用することができない理由を教えてください。 ⇒ 問 11 へ

問 11 事業所・施設への退院時に加算を算定することがありますか。（ はい・ いいえ ）
はい ⇒ 問 12 へ いいえ ⇒ これで回答は終了です。

問 12 算定している加算（医療・介護連携に関するもの）をお教えてください。
また、新たな市内共通様式を使用することによって加算への影響はありますか。 ⇒ これで回答は終了です。

例：退院時共同指導料等、影響はない。

※本アンケート結果は、田川市地域包括ケアシステム推進協議会 医療・介護・住まい部会で資料として使用させていただきます。病院名等の公表に支障がある場合、担当者までお申し付けください。

退院時連携シート共通様式項目一覧

別紙 1

情報連携において、必要な項目、不要な項目に○をつけてください。

項目名	記入内容	必要	不要
入院原因疾患			
退院時の要介護度	なし・申請中・要区分変更		
退院後の医療機関	入院していた病院・入院前のかかりつけ医・その他の医療機関		
退院後の受診方法	通院・訪問診療		
医療機関（医師）からの見立て・変化の可能性についての説明	今後の見通し、急変の可能性や今後、どんなことが起こりうるか（合併症）、良くなっていく方向かゆっくり落ちていく方向なのか など		
病院等の説明に対する本人・家族の反応・受け止め			
禁忌事項	禁忌の有無、禁忌の内容や留意点		
退院後に必要な処置内容（各項目の該当の有無を選択し、在宅で継続するための要件があれば別に記載する） ※一部不要な項目がありましたら、その項目の上に取り消し線を引いてください。	医療処置 （点滴・酸素療法・喀痰吸引・気管切開・褥瘡処置・ストーマ（尿路・消化管）・胃ろう・経管栄養・尿道カテーテル・痛みコントロール・排便コントロール・排便コントロール・自己注射）		
	看護の視点 （血圧・水分制限・食事制限・食形態・嚥下・口腔ケア・清潔ケア・血糖コントロール・排泄・皮膚状態・認知機能・精神面・睡眠・服薬指導・療養上の指導（食事・水分・睡眠・清潔ケア・排泄）・ターミナル）		
	リハビリの視点 （本人指導・家族指導・関節可動域練習・筋力増強練習・バランス練習・麻痺及び筋緊張改善練習・起居及び立位等基本動作・言語訓練・摂食及び嚥下訓練・ADL練習・IADL練習・疼痛管理・更生装具及び福祉用具等管理・運動耐容能練習・地域活動支援・社会参加支援）		
退院後の課題（阻害要因）	心身の状況・環境など		
退院時のADL（各項目の状況（自立・見守り・一部介助・全介助など）を選択）	身体・生活状況 （食事・口腔ケア・移乗・移動・排泄・更衣・入浴・整容・麻痺・精神面）		
	服薬管理 （自己管理・他者管理・服薬状況など）		
情報交換の履歴	聞き取り日・情報提供者名・職種など		

上記項目以外に必要な情報があればご記入ください。

令和4年度 第1回

医療・介護・福祉従事者と地域住民をつなぐ

ケアカフェ®

Blending Community
Blending Community

たがわ



ケア・カフェたがわは、医療者・介護者・福祉者との集まりです。顔の見える関係作りと自分の住んでいる地域の医療介護について、意見交換しあいましょう。

【開催日】 令和4年9月16日（金）18:30～20:00

テーマ

「コロナ禍で面白くなかったこと・
良かったことを話しませんか？」

- 【方 法】 ZOOM 開催（申込時に頂いたメールアドレスに URL をお送りします）
- 【内 容】 グループワーク
- 【コメンテーター】 田川医師会 理事 松岡 修 医師
福岡県立大学 看護学部 尾形 由起子 教授
- 【対 象 者】 医療介護にかかわる方 定員30名
- 【参 加 費】 無料
- 【申 込 方 法】 メール又はファックス
- 【申 込 締 切 日】 令和4年8月31日(水)



●申し込み・問い合わせ

〒825-8501 田川市中央町 1-1 田川市高齢障害課 高齢介護係（花田 河野）

メールアドレス kourei@lg.city.tagawa.fukuoka.jp

☎ 0947-85-7129 FAX 0947-42-2000 主催 田川市
共催 福岡県立大学



たがたん

令和4年度 第2回

医療・介護・福祉従事者と地域住民をつなぐ

ケアカフェ[®] たがわ

Blending Communities

ケア・カフェたがわは、医療者・介護者・福祉者との集まりです。顔の見える関係作りと自分の住んでいる地域の医療介護について、意見交換しあいましょう。

【開催日】 令和4年12月9日（金）18:30～21:00

【場 所】 福岡県立大学 看護学部4号館 3階 地域在宅看護実習室

（ただし、新型コロナウイルス感染拡大状況によっては、オンライン開催に変更する可能性あり）

テーマ「カード方式地域の事例で学ぶ臨床倫理」

講師 琉球大学病院 地域・国際医療部 特命助教

金城 隆展 先生（臨床倫理士）

（講師プロフィール）

平成12年米国ロマリンド大学大学院にて生命医療・臨床倫理学修士号、平成20年大阪府立大学大学院にて博士号。ロマリンド大学クリスチャンバイオエシックスセンター運営管理人、大阪府立大学人間社会学部客員研究員、東京大学 大学医学系研究科特任研究員、琉球大学医学部非常勤講師、群馬大学非常勤講師を経て、現職。

専門は生命倫理、医療倫理、臨床倫理、医療倫理教育。ナラティブを医療倫理に導入した「ナラティブエシックス」を研究。

- 【内 容】 講義、グループワーク
- 【コメンテーター】 田川医師会 理事 松岡 修 医師
福岡県立大学 看護学部 尾形 由起子 教授
- 【対象者】 医療介護にかかわる方 定員30名
- 【参加費】 無料
- 【申込方法】 メール又はファックス
- 【申込締切日】 令和4年11月18日（金）



●申し込み・問い合わせ

〒825-8501 田川市中央町1-1 田川市高齢障害課 高齢介護係（花田 河野）

メールアドレス kourei@lg.city.tagawa.fukuoka.jp

☎ 0947-85-7129 FAX 0947-42-2000 主催 田川市
共催 福岡県立大学



たがたん



介護保険施設等（入所施設）

令和4年12月1日現在

施設区分	介護保険サービス	福岡高齢者保健福祉計画整備量管理	指定等 関係機関	市内施設数	定員数	入所人員	入所人員の保険者	入所率
介護老人福祉施設 （特別養護老人ホーム） ※定員30人以上	介護保険	意向調査 有	県 （介護保険課）	4	260人	247人	田川市	94人
							市外	153人
地域密着型介護老人福祉施設 （地域密着型特別養護老人ホーム） ※定員29人以下	介護保険	意向調査 有	指定 （広域・市）	0	-	-	-	-
介護老人保健施設（老人保健施設）	介護保険	意向調査 有	県 （介護保険課）	3	280人	227人	田川市	116人
							市外	111人
介護医療院	介護保険	意向調査 有	指定 （介護保険課）	0	-	-	-	-
介護療養型医療施設（療養型病床群等）	介護保険	-	県 （介護保険課）	1	8人	8人	田川市	5人
							市外	3人
認知症対応型共同生活介護 （グループホーム）	介護保険	意向調査 有	指定 （広域・市）	11	162人	129人	田川市	111人
							市外	18人
養護老人ホーム	-	意向調査 有	指定 （介護保険課）	1	50人	41人	田川市	19人
軽費老人ホーム	-	意向調査 有	指定 （介護保険課）	1	30人	28人	田川市	18人
							市外	10人

介護保険施設等（入所施設）（施設名）

○介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）

単位：人

No.	施設名	住所	定員
1	特別養護老人ホーム 寿楽園	田川市伊加利平原2091番8	100
2	特別養護老人ホーム ことぶき園	田川市伊田431-1	50
3	特別養護老人ホーム むつみ園	田川市弓削田2838番地49	50
4	ユニット型介護老人福祉施設 春のおとずれ	田川市伊加利2047-3	60

○介護老人保健施設（老人保健施設）

No.	施設名	住所	定員
1	介護老人保健施設 あげぼの荘	田川市夏吉46番地	100
2	介護老人保健施設 明寿苑	田川市川宮1569番地の2	100
3	介護老人保健施設 サンドリーム 田川	田川市伊加利2047-4	80

○介護療養型医療施設（療養型病床群等）

No.	施設名	住所	定員
1	医療法人田中医院	田川市春日町1番7号	8

○認知症対応型共同生活介護（グループホーム）

No.	施設名	住所	定員
1	グループホーム 見立	田川市弓削田3251番地	9
2	グループホーム めぐみの里	田川市夏吉364番地	18
3	グループホーム サンホーム	田川市川宮1711番地29	18
4	いきいきハウス日吉町	田川市糶2264番地1	9
5	医療法人吉峯医院 グループホーム日の出	田川市新町24番24号	18
6	グループホーム 夏吉園	田川市夏吉3614番地の1	18
7	グループホーム やすらぎ	田川市伊田426番地	18
8	グループホーム 愛の里 白寿荘	田川市奈良1534番地の31	18
9	グループホーム 心笑み 伊田	田川市伊田3764-1	9
10	グループホーム 愛ほーむ	田川市夏吉334番15	18
11	グループホーム 老花家	田川市伊田2585番地4	9

○養護老人ホーム

No.	施設名	住所	定員
1	シントラスト夢美苑	田川市川宮1567-8	50

○軽費老人ホーム（ケアハウス）

No.	施設名	住所	定員
1	ジョイハート	田川市大字奈良1529-55	30

その他の高齢者向け住宅

令和4年12月1日現在

施設区分	介護保険サービス	福岡県高齢者保健福祉計画にて整備量管理	指定等	関係機関	市内施設数	定員数	入居人員	入所人員の保険者	入居率
有料老人ホーム	/	/	県 (介護保険課)	届出	2	90人	83人	田川市 44人 市外 39人	92.2%
			県 (介護保険課)	届出	19	492人	416人	田川市 247人 市外 169人	84.6%
			県 (介護保険課)	届出	0	-	-	-	-
サービス付き高齢者向け住宅	/	/	県 (住宅計画課)	登録	1	100人	83人	田川市 53人 市外 30人	83.0%
高齢者向け優良賃貸住宅	/	/	県 (住宅計画課)	認定(終了)	4	230人	197人	田川市 130人 市外 67人	85.7%
シルバーハウジング	/	/	国土交通省 厚生労働省	届出	0	-	-	-	-

その他の高齢者向け住宅（施設名）

○介護付有料老人ホーム（県介護保険課届出分）

単位：人

No.	施設名	住所	定員
1	アットホームこころ	田川市大字夏吉417-3	30
2	さわやか田川館	田川市大字伊田393-1	60

○住宅型有料老人ホーム（県介護保険課届出分）

No.	施設名	住所	定員
1	コレクティブハウス「めぐみ」	田川市大字夏吉263番地11	14
2	住宅型有料老人ホームぱらだいす	田川市大字夏吉3062番地の1	20
3	住宅型有料老人ホームレッシェルン	田川市大字川宮664番地	33
4	住宅型有料老人ホームきらぼし	田川市大字弓削田117-1	40
5	サニーサイド	田川市大字伊加利2140-8	14
6	住宅型有料老人ホームまごころ	田川市伊田4849番地1	18
7	いきいきハウスレジデンス	田川市大字糺2265番地1	18
8	日の出荘	田川市大字伊田491-1	22
9	第2日の出荘	田川市大字伊田487-1	20
10	第3日の出荘	田川市大字伊田492-1	20
11	住宅型有料老人ホームケアタウンあいあい田川	田川市大字糺2085-10	89
12	後藤寺サクラ園	田川市丸山町1番4号	44
13	かながわ苑	田川市大字夏吉1785-1	36
14	サンプレイス暖家の丘	田川市大字位登113番地1	50
15	高齢者住宅縁むすび	田川市大字伊田2792-3	10
16	みまもり荘 慈愛	田川市大字位登1774番地1	5
17	高齢者住宅 えにし	田川市伊田2793番地1	10
18	住宅型有料老人ホーム みつばち	田川市大字奈良1539-4	13
19	ひだまりの杜	田川市大字川宮1055番地1	16

○サービス付高齢者向け住宅

No.	施設名	住所	定員
1	サンフェロー暖家の丘	田川市大字糺824番地20	100

○地域優良賃貸住宅（高齢者型）

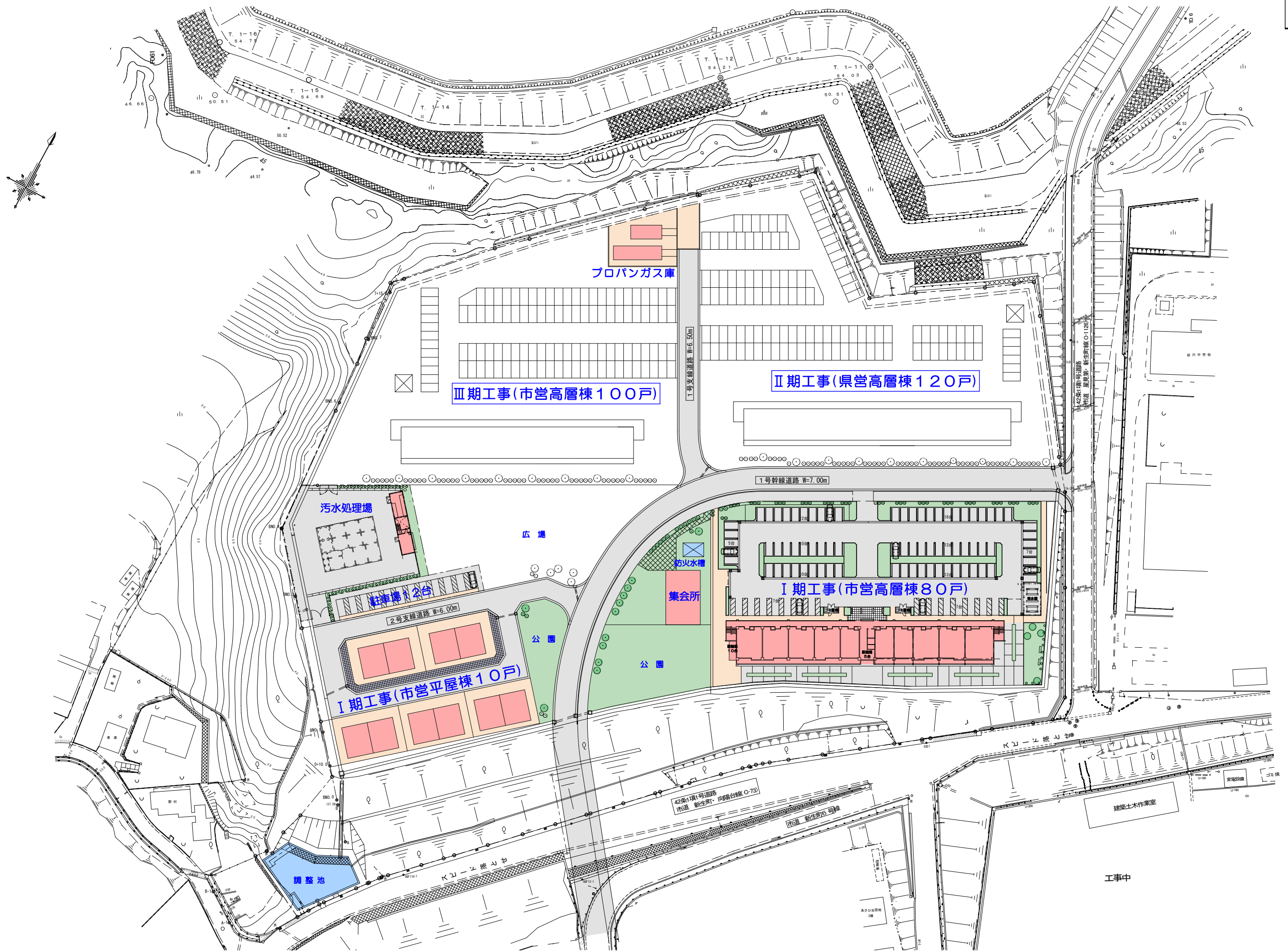
No.	施設名	住所	定員
1	かながわ苑	田川市大字夏吉1785番地1	36
2	後藤寺サクラ園	田川市丸山町1番4号	44
3	サンプレイス暖家の丘	田川市大字位登113番地1	50
4	サンフェロー暖家の丘	田川市大字糺824番地20	100

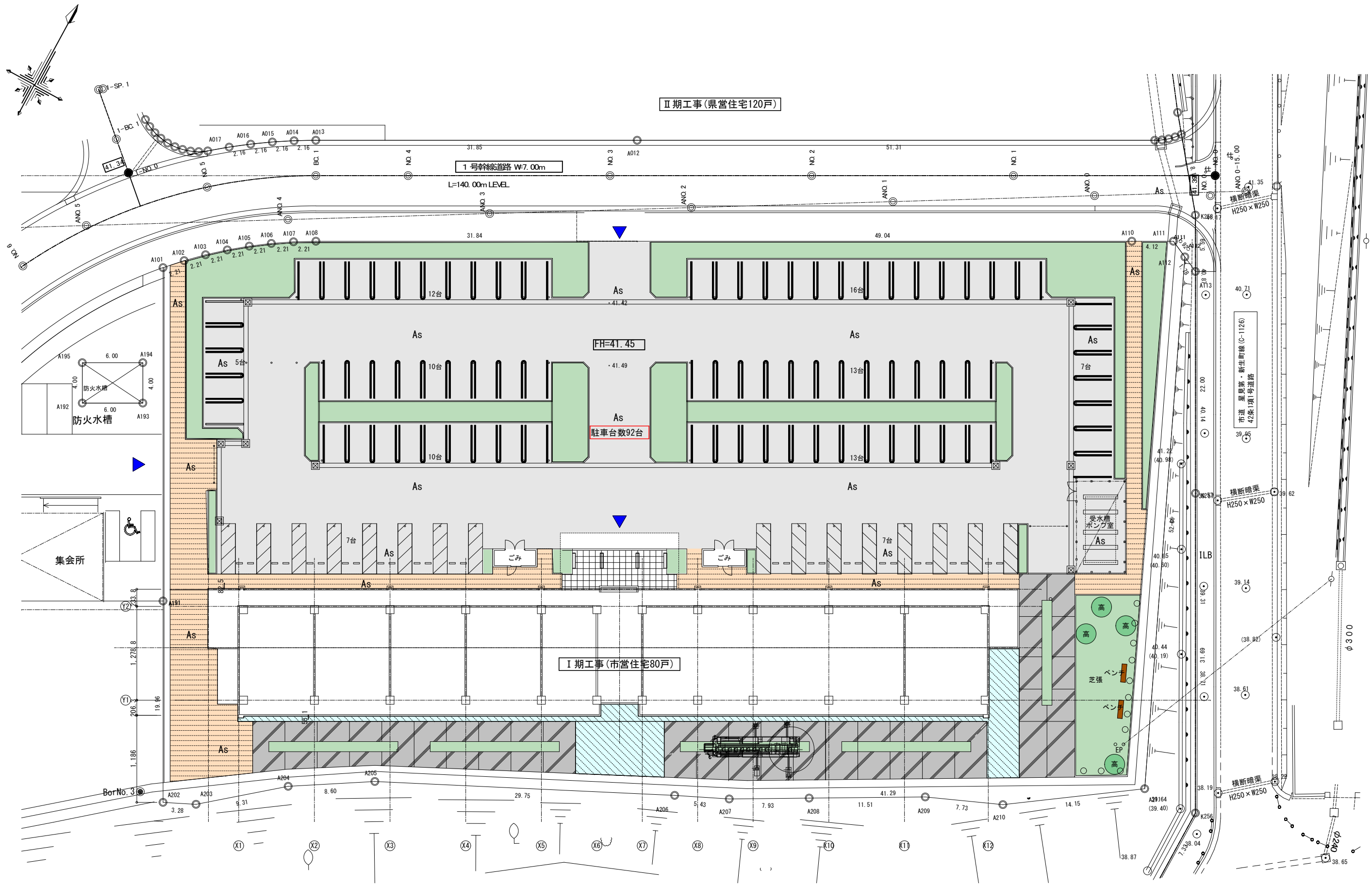
介護保険施設等（入所施設）の入所率

施設区分	施設数	定員数	入所率（12月1日時点）					備考
			平成30年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
介護老人福祉施設 （特別養護老人ホーム） ※定員30人以上	4	260人	94.6%	98.1%	94.6%	95.8%	95.0%	
介護老人保健施設 （老人保健施設）	3	280人	85.0%	88.2%	87.9%	83.6%	81.8%	
介護療養型医療施設 （療養型病床群等）	1	8人	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
地域 密着 認知症対応型共同生活介護 （グループホーム）	11	162人	92.0%	89.5%	88.3%	79.6%	79.6%	
養護老人ホーム	1	50人	78.0%	76.0%	74.0%	66.0%	82.0%	
軽費老人ホーム	1	30人	96.7%	100.0%	96.7%	96.7%	93.3%	
有料老人ホーム	介護付	90人	98.9%	92.2%	98.9%	94.4%	92.2%	平成30年度13施設（409人） 令和1年度16施設（446人） 令和2年度18施設（473人） 令和3年度19施設（491人） 令和4年度19施設（492人） （ ）は定員数
	住宅型	備考欄に記載	93.2%	91.3%	88.8%	87.6%	84.6%	
サービス付き高齢者向け住宅	1	100人	96.0%	95.0%	98.0%	96.0%	83.0%	

1 向陽台団地 土地利用計画図

資料4





配置図 A-01

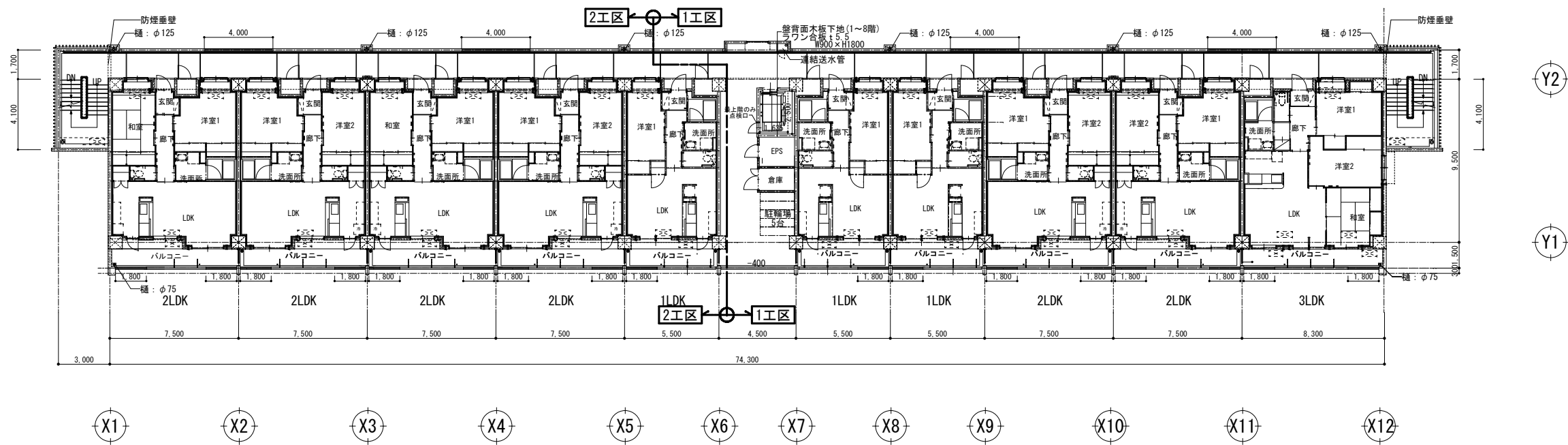
建物概要

- 敷地面積 : 4,898.12 m²
- 建築面積 : 913.71 m²
- 延べ面積 : 5,707.38 m²
- 建ぺい率/容積率 : 18.66%/104.65%
- 建築用途 : 共同住宅
- 構造・規模 : RC造地上8階建 80戸
1LDK 24戸、2LDK 48戸、3LDK 8戸
- 整備水準 : ZEH基準（ゼロ・エネルギー・ハウス）
- 概算建設費 : 約18億円（戸当り2,250万円）

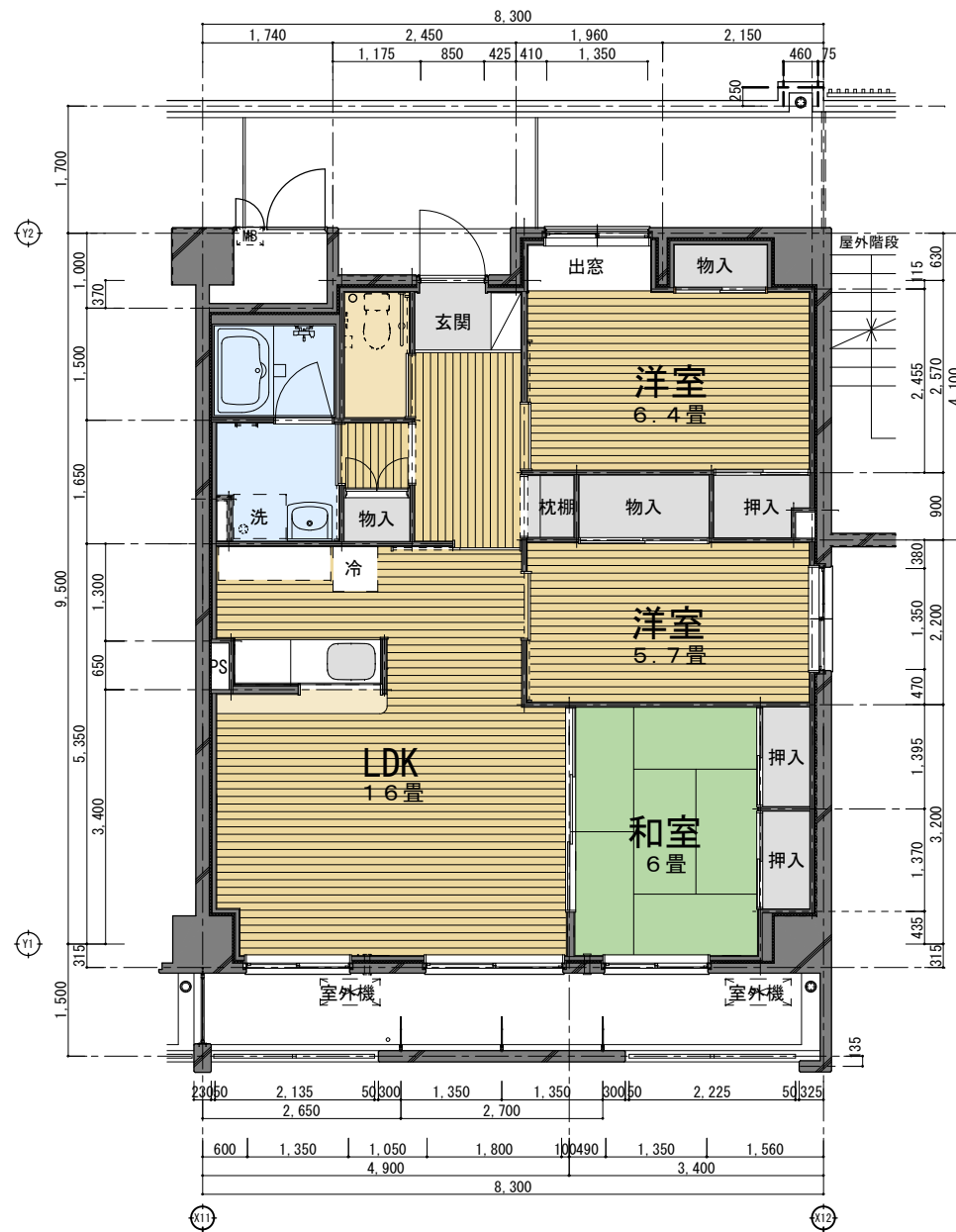
	← 1工区					→ 2工区				
8F	3LDK	2LDK	2LDK	1LDK	1LDK	1LDK	2LDK	2LDK	2LDK	2LDK
7F	3LDK	2LDK	2LDK	1LDK	1LDK	1LDK	2LDK	2LDK	2LDK	2LDK
6F	3LDK	2LDK	2LDK	1LDK	1LDK	1LDK	2LDK	2LDK	2LDK	2LDK
5F	3LDK	2LDK	2LDK	1LDK	1LDK	EVホール 駐輪場	1LDK	2LDK	2LDK	2LDK
4F	3LDK	2LDK	2LDK	1LDK	1LDK	1LDK	2LDK	2LDK	2LDK	2LDK
3F	3LDK	2LDK	2LDK	1LDK	1LDK	1LDK	2LDK	2LDK	2LDK	2LDK
2F	3LDK	2LDK	2LDK	1LDK	1LDK	1LDK	2LDK	2LDK	2LDK	2LDK
1F	3LDK	2LDK	2LDK	1LDK	1LDK	エントランス	1LDK	2LDK	2LDK	2LDK

北側

住戸配置計画

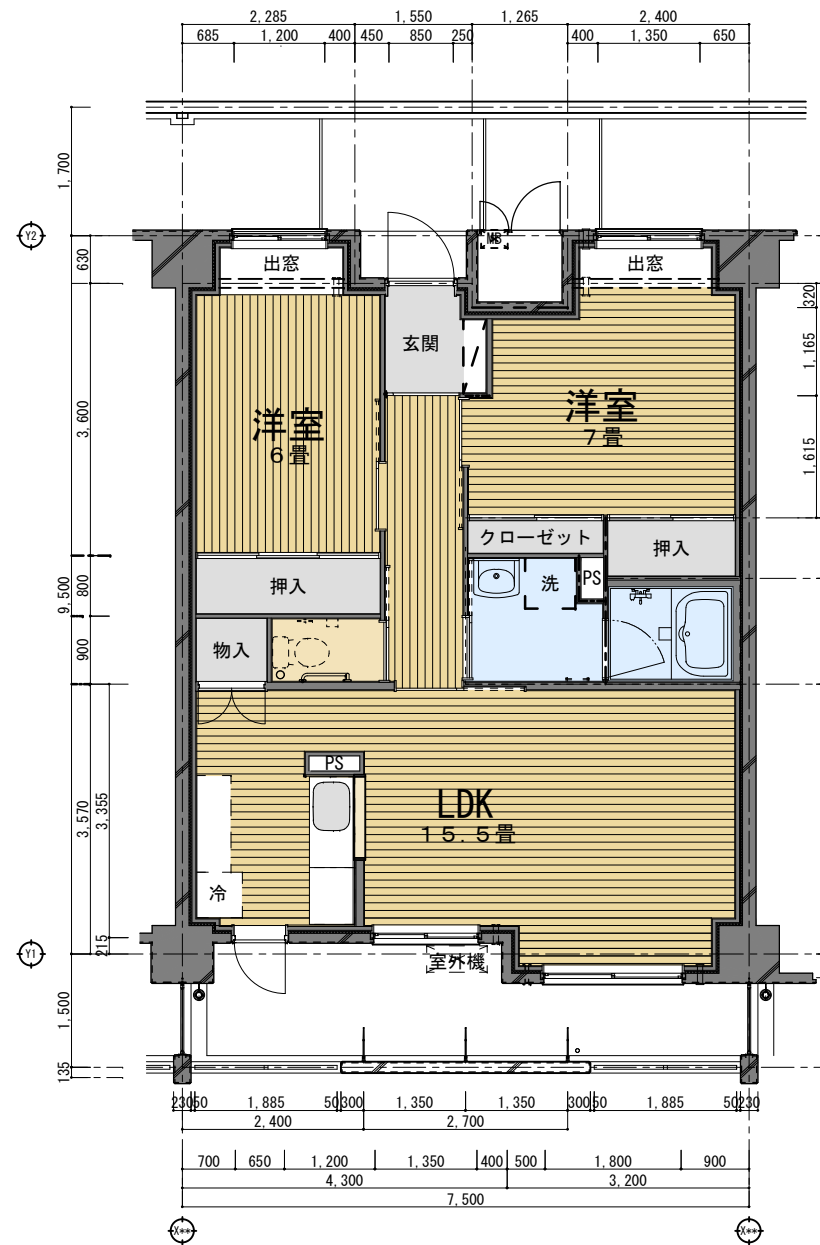


基準階平面図 S=1/300



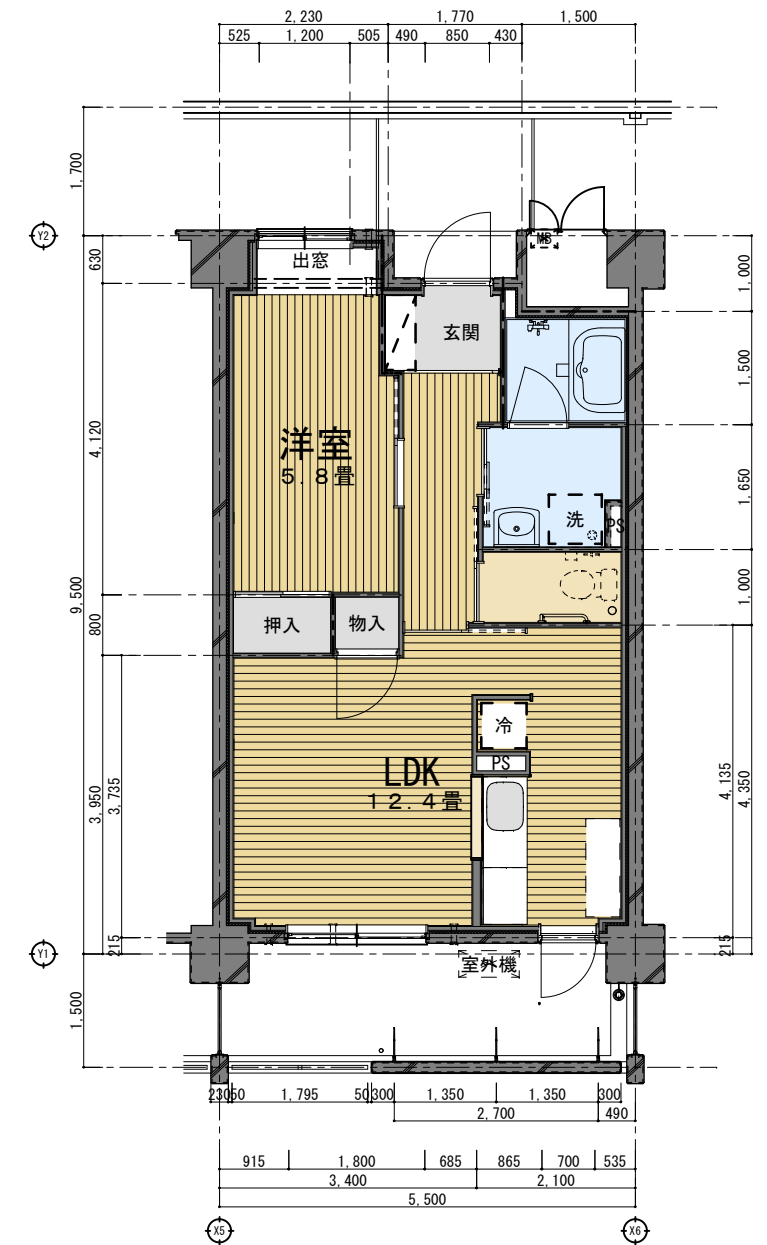
3LDK 住戸平面詳細図

住戸面積：75.59㎡ ※ベランダを除く
ベランダ：9.83㎡



2LDK 住戸平面詳細図

住戸面積：66.20㎡ ※ベランダを除く
ベランダ：11.17㎡



1LDK 住戸平面詳細図

住戸面積：47.05㎡ ※ベランダを除く
ベランダ：9.43㎡



北側



北東側



南側



北西側